

学校給食の充実と食育の推進

健やかな体をつくる学校給食、食教育

全小中学校において完全給食を円滑に実施するとともに、地場産物の活用や郷土食の紹介など食教育の生きた教材として学校給食の充実を図り、生産・調理にかかわる人への感謝の心を醸成しながら、児童生徒の健全な育ちを支援する。

また、偏った栄養摂取、朝食の欠食など食生活の乱れや不規則な生活習慣など、児童生徒の健康を取り巻く問題が深刻化している。そのため、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、積極的に食に関する教育・指導を行っていく。

1. よりよい学校給食の実施

- ① 4月から加茂学校給食センターから阿波小学校に給食を提供する。
- ② 地元地域の食材・産物を学校給食に取り入れ、地産地消を進める。
- ③ 郷土料理や外国の食事、季節ごとの行事食を献立に取り入れ、幅広い食文化を紹介する。
- ④ 給食関係者の研修、給食施設の整備につとめ、衛生管理の徹底を図る。
- ⑤ 給食費の適正な運営を目指し、未納の発生をなくすため、対応策を実施し、さらに検討を重ねる。

2. 積極的な食育の推進

- ① 学校ごとに「食に関する指導の全体計画」を策定し、学校教育活動全体を通じた食育を推進する。
- ② 栄養教諭・学校栄養職員・栄養士を中心に、食指導のための教材を活用し、各教科・総合的な学習の時間・特別活動を活用して食に関する指導を行う。
- ③ 学校食育推進連絡会議（仮称）を設置し、学校相互の食育推進に関する方針や取組みの連絡調整を行う。
- ④ 生産や調理にかかわる人々への感謝の心を児童生徒に醸成する。
- ⑤ 食に関する講演会・給食試食会などを開催することにより、食育の大切さを知る機会を広く提供し、食育活動への動機づけを図る。



津山市食育推進キャラクター「しょくたん」